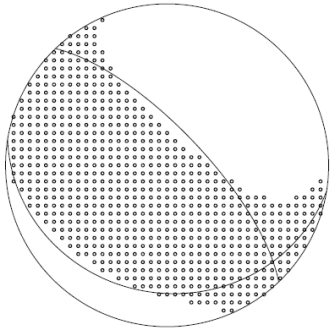


## 6月29日 サウスサンドウィッチ諸島の地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

W-phase による解

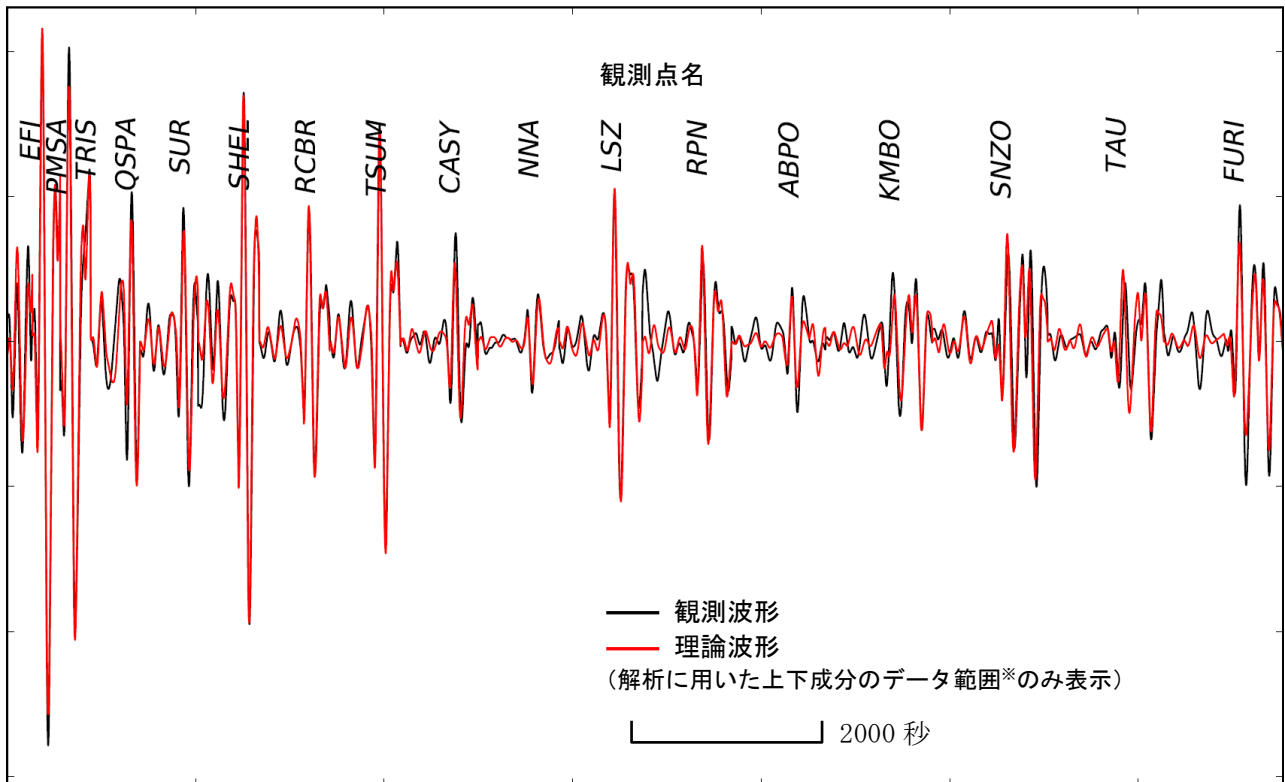


2014年6月29日16時52分(日本時間)にサウスサンドウィッチ諸島で発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、 $M_w$  とも、Global CMT などの他機関の解析結果とほぼ同様であり、 $M_w$  は 6.8 であった。なお、W-phase の解析で求めた震源は  $S55.2^\circ$ 、 $W28.5^\circ$ 、深さ 31km となった。

W-phase の解析では、震央距離  $10^\circ \sim 90^\circ$  までの 17 観測点の上下成分、4 観測点の南北成分、6 観測点の東西成分を用い、100~300 秒のフィルターを使用した。

注) W-phase とは P 波から S 波付近までの長周期の実体波を指す。

$M_w$	$M_0$	断層面解 1 (走向/傾斜/すべり角)	断層面解 2 (走向/傾斜/すべり角)
6.8	$2.16 \times 10^{19} \text{Nm}$	$99.2^\circ / 21.9^\circ / 54.9^\circ$	$316.3^\circ / 72.2^\circ / 103.0^\circ$



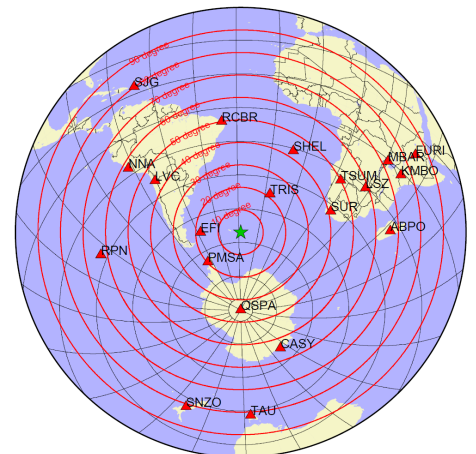
\*解析に用いたデータの範囲は 15 秒×震央距離(度)としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

(W-phase に関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera, 2008, Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

解析データには IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。

また、解析には金森博士に頂いたプログラムを使用した。記して感謝する。



解析に使用した観測点配置

気象庁作成